

アンブレラ・マスター

森行成さん 恵子さん



西浦一丁目の近鉄名古屋線線路沿いに店を構える傘専門店「カサキ」。

この店は、アンブレラ・マスターという傘の専門知識を持ったスペシャリストの夫婦が営んでいます。店の歴史や傘のプロとしてのこだわりなどをお聞きしました。

160年の歴史

カサキは慶応元（1865）年に創業し、160年の歴史があります。創業時は、中町に店を構え、旅館や学校に和傘を販売していました。その後は、大型商業施設への出店などを経て、10年程前に現在の地に移転しました。

移転前は、洋傘に加えて帽子などの雑貨を販売していた時期もありましたが、傘の販売に集中したいと考え、現在は傘専門店として、百貨店やスーパーであまり取り扱われていない日本製の洋傘を中心に販売しています。



傘喜（カサキ）と書かれた和傘



日本製の洋傘



アンブレラ・マスターの称号

日本製で職人が作った傘は価格が高いものの、壊れにくく、長く使うことができます。もし、壊れてしまっても、私たちが修理する事もできるので、お気に入りの傘を使い続けることができます。

アンブレラ・マスターとして

アンブレラ・マスターとは、「アンブレラ・マスター認定試験」に合格した洋傘の専門家のことです。

洋傘の種類や、機能、素材、製造技術に精通し、使う人に合う洋傘を見極め、手入れや使い方などの説明や修理などのサービスを提供することもできます。

傘は道具です。どんなに良い傘でも、使い方を間違えると短期間で壊れることがあります。上手にを使って、適切に手入れをすれば長持ちします。お客さんが気に入った傘を見つけるために、それぞれの傘の特徴やメリット・デメリットを説明し、傘を差した状態で、全身を鏡に映して決めていただくようにしています。それから傘の開き方、閉じ方、巻き方など、使用する際のポイントを丁寧に説明します。

近年では、インターネット販売をしてほしいという声を頂くこともありますが、インターネット販売をしないことが私たちの店のこだわりです。お客さんには、直接説明を聞いて、「雨の日にお出掛けしたくなる傘」や「暑い日に涼しさを感じる日傘」を見つけてほしいと思っています。

これからも四日市で

長く商売をしていると、3代続けて通っていただけるお客さんもみえます。160年もの間、店を続けることができているのは、お客さんをつないできた先代たちのおかげ。これからも、周りへの感謝を大切にしながら、ここ四日市で長く店を続けていきたいと思っています。

6月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)